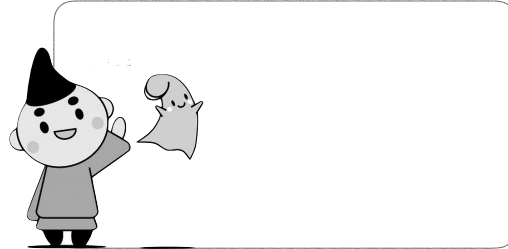


私カード

名前：
電話番号：
住所：茅ヶ崎市
生年月日：
血液型：
持病・アレルギー：（有・無）
服用中の薬：（有・無）
私の避難場所：

連絡先

名前	電話番号	続柄



緊急時に持っている则安心なカードです。住所などが書いてあるので、落としたりしないように気をつけてください。



ガスの火はどうするの？

お料理中でキッチンにいる場合はすみやかに火を消しましょう。都市ガスの場合は揺れを感じた時に自動で止まる機能が付いています。大きな揺れの時は無理して近づくと思わぬ怪我につながります。食器棚や熱い料理などから離れて、まずは自分の身を守って揺れがおさまってから消しましょう。

火災から我が家を守ろう！

揺れがおさまったらブレーカーを切って、家電への通電を止めましょう。電気の復旧は意外と早く、復旧した時にスイッチが入ったままのヒーターなどに通電してそれが原因で火災が起きることも多いそうです。

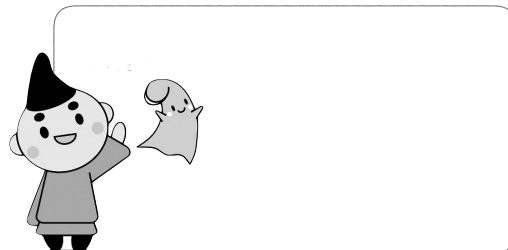
「避難前にはブレーカー」を思い出してくださいね。

私カード

名前：
電話番号：
住所：茅ヶ崎市
生年月日：
血液型：
持病・アレルギー：（有・無）
服用中の薬：（有・無）
私の避難場所：

連絡先

名前	電話番号	続柄



緊急時に持っている则安心なカードです。住所などが書いてあるので、落としたりしないように気をつけてください。

阪神淡路大震災の経験者のお話

朝早く、まだ暗い時間に大きく揺れて、気がついたら家がぐにゃっとねじれて1階が無くなり、私が寝ていた2階がそのまま1階になっていて、暗闇の中何が起きたか全くわからず、ただ点くはずの無い電気を点けようとしていた私。1階になってしまった2階の窓から外に出てやっと家がどうなったかがわかり、避難した近くの公園で夜が明け、周りが見えるようになってから、自分が裸足であること、パジャマであることに気が付き、ガタガタと震えました。1月の明け方でとても寒かったのです。高校生くらいの男の子が壊れた家に入り、取り出すことができたコートとバッグを持ち出してくれました。その中に友人の電話番号が入っていたおかげでなんとか無事の知らせを伝えられたのです。2,3日たって家を見に行ったらアクセサリーなどの貴金属類は盗難にあったようで、なくなっていました。それ以来友人には枕元に貴重品や靴を置いておくことを伝えてあります。

※靴については表面にも書いてありますが、釘やガラスを踏んで怪我をしないようにできるだけそこがしっかりしているものが良いと思われませんが、カンフーシューズや学校の上履きのようなものなら準備がしておきやすいかもしれません。